



# 消防だより

有田川町消防本部 052-595950  
吉備金屋消防署 052-595950  
清水消防署 025-1243

今年の出動など(累計)

火災……………9件  
救助……………1187件  
平成27年10月31日現在 15件

## 暖房器具からの 出火に備えて

これからの季節、寒さも厳しくなり、暖房器具などの火を取り扱う機会が多くなります。ご家庭の暖房機器の取り扱いについて一度チェックしてみてください。

### 火災を防ぐポイント

- 内にチェック✓を入れて確認してください。
- ストープの周囲に燃えやすい物(洗濯物など)は近づけない。
- ストープの周囲にスプレーなどの引火の危険があるものを置かない。



□ 給油時は火が消えたことを確かめてから給油する。

□ ストープは対震自動消火装置付きのものにする。

□ 就寝時や外出時は、必ず火を消し、プラグをコンセントから抜く。

□ プラグとコンセントの間にホコリを溜めないよう掃除する。

全てチェック✓を入れることができましたか? 火災を起こさないためにももう一度、暖房機器の正しい使用方法や注意事項を確認しておきましょう。



## 窒息・異物除去

年末年始は、餅料理を食べる機会が増え、毎年餅などによる窒息事故が多くなる時期です。

窒息は食べ物などの異物が気道を塞ぎ、息ができなくなった状態です。窒息を起こすと、死に至ることも少なくありません。窒息の事故を減らすために大切なことは、窒息を予防することです。

飲み込む力が弱い高齢者などは、食べ物を細かくきざむなどの工夫をしましょう。

### チョークサイン

窒息を起こし、呼吸ができなくなったら、他の人に知らせる世界共通のサイン。



### 窒息の発見

苦しそう、顔色が悪い、声が出せないなど、異物による窒息であると気付いた場合、119番通報を行うと同時に、次の方法で異物の除去を試みます。なお、傷病者が咳をすることができれば、咳を続けさせます。咳が一番効果的と言われています。

反応(意識)がある場合

### ●腹部突き上げ法

傷病者の背中側から腕を回し抱えるようにし、片手で握り拳を作り、



傷病者のへそよりも上でみぞおちの下方に当てます。その拳をもう一方の手で握り、素早く手前上方側へ圧迫するように突き上げます。

※実施した後は、必ず医療機関を受診してください。

※妊婦や乳児には腹部突き上げ法を行ってはいけません。次の方法「背部叩(こう)打法」を行ってください。

### ●背部叩(こう)打法

手のひらの付け根で、肩甲骨の間を力強く連続してたたきます。

### 反応が無くなれば

直ちに心肺蘇生法を行ってください。心肺蘇生中に異物が見えたなら、異物を取り除きます。

